

男女共同参画情報誌

STEP

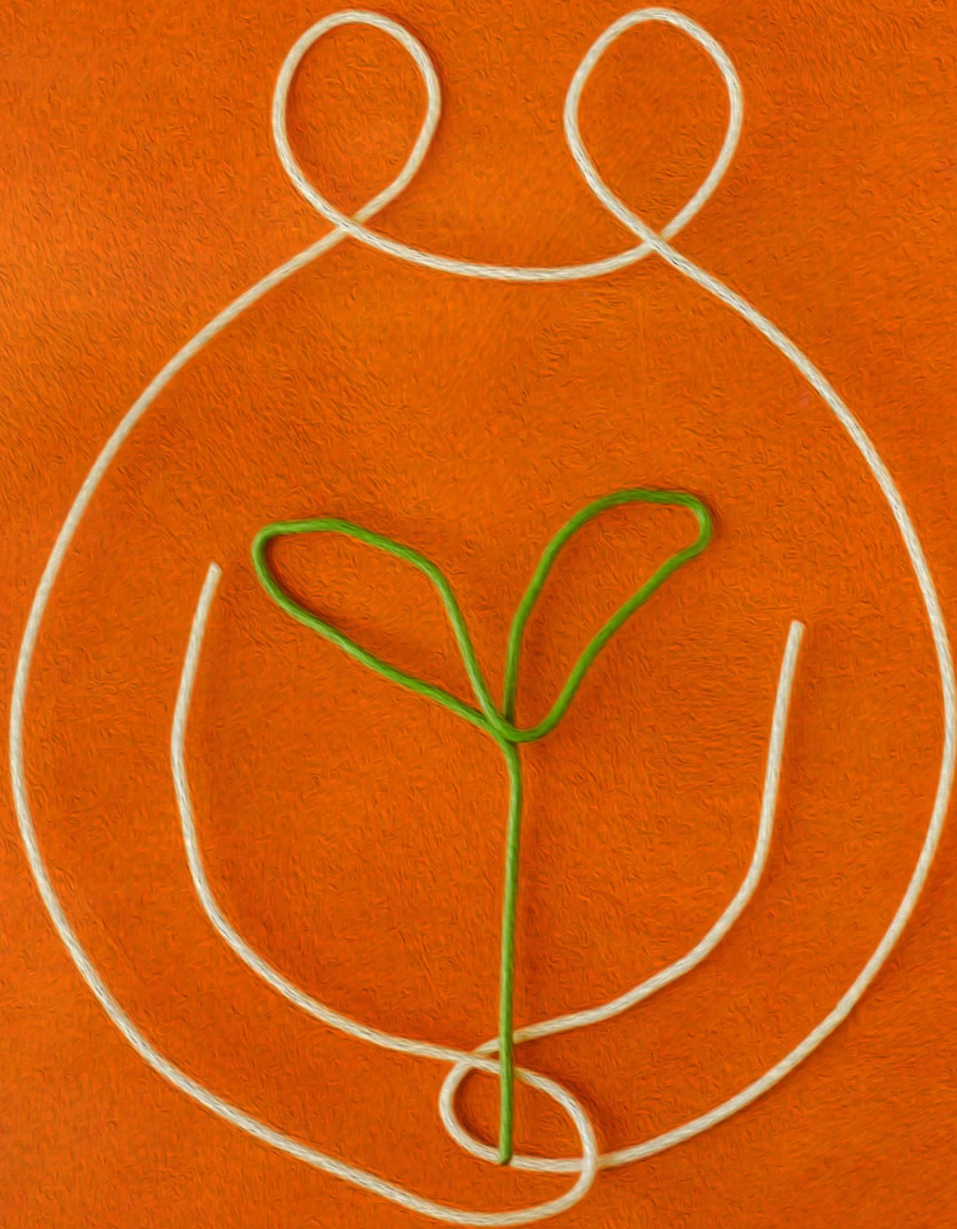
Kagoshima city

平成26年秋

2014
vol. 39

〈発行〉 鹿児島市
男女共同参画推進課

すてっぷ



特集

鹿児島市 男女共同参画 推進条例

Front interview

フロントインタビュー

男女共同参画のための教育と
メディア・リテラシー

メディアジャーナリスト 渡辺 真由子 さん

Forum

夫婦のパートナーシップの在り方を学ぶ 男女共同参画週間フォーラムを開催

男女共同参画週間(6月23日～29日)にちなんで、男女共同参画社会を考えるフォーラムが6月29日、サンエールかごしまで開かれました。第1部ではリタイア後の夫婦関係に関する講演会、第2部では父親の育児・家事参加についての調査報告があり、49人が参加しました。

第1部 講演会

「リタイア後はこうアライ！ のびのびパートナーシップのすすめ」

講師の
石蔵文信さん



第1部の講演会では、大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科教授の石蔵文信さんが「リタイア後はこうアライ！のびのびパートナーシップのすすめ」のテーマで話しました。

循環器科専門医として主に男性更年期外来を担当、「妻の病気の9割は夫がつくる」「男もつらいよ！男性更年期」などの著書もある石蔵さんは、臨床例やアンケート結果などから、増えている熟年離婚の主な理由として①夫が家事を手伝ってくれない②暴言をはく③甲斐性がないなどがあり、「妻の日常の不満が積みもたてて爆発、離婚に至る」と説明。定年後の夫と一緒にいると体がもたないと訴える「亭主在宅症候群」の女性が多いことを紹介しました。

一方、男性の定年前のうつは多すぎるストレス、定年後のうつは少なすぎるストレスが原因として、「女性は家事があるから元気。男性は毎日できることを見つける必要がある」と指摘。男性に「妻を上から目線でなく対等な一個人として見て、まずは妻を名前と呼ぶ。家事を身につけて自立する。妻に『ありがとう』『ごめんなさい』『愛してる』の言葉をかける。結婚記念日や妻の誕生日を忘れず、花を贈る。孫の面倒を見るイクジイになるう」となど呼びかけました。

第2部 調査研究支援事業報告会

「父親の育児・家事参加に影響する要因の検討」

第2部では、鹿児島市男女共同参画センター調査研究支援事業として、臨床心理士や大学院生らの「インタラクショナル・ビュー研究会」による「父親の育児・家事参加に影響する要因の検討」の調査結果が報告されました。調査は今年2～3月、県内の保育園7園にアンケート用紙を配って実施。母親98人、父親81人から回答がありました。

報告では、父親が育児や家事を行う際に母親がマネージャー的な役割を果たそうとして父親の関与に厳しい評価を下し、他者の援助を遠ざけようとする「ゲートキーピング」(門番)の問題を中心に紹介。「父親の育児参加は母親や子どもの発達にも肯定的な影響を与える。母親が父親の家事・育児をねぎらい、賞賛することで、ゲートキーピングが父親の参加を広げる効果もある」と指摘しました。



リタイア後のパートナーシップについての講演会



父親の育児・家事参加について報告した
インタラクショナル・ビュー研究会のメンバー

Happy Smile seminar

サンバのリズムに乗ってパパと踊ろう ベビーダンスで赤ちゃんすやすや



赤ちゃんを抱っこして
ベビーダンスに夢中パパたち



ベビーダンスの前に
赤ちゃんとお父さんとリラックス

「パパ大好き♡泣く子も笑うハッピーマイルセミナー」と題して7月13日、サンエールかごしまで父親のためのベビーダンスセミナーが開かれました。

保育士で日本ベビーダンス協会認定インストラクターの小島美幸さんを講師に迎え、生後6カ月～1歳半の赤ちゃん9人と父親が参加。赤ちゃんを抱っこひもで抱っこして、サンバの曲に合わせて、ステップを踏んだりして、親子一緒にベビーダンスを楽しみました。はじめはぐずっていた赤ちゃんも、やがて全員すやすやと眠ってしまい、ベビーダンスの不思議なパワーを実感しました。

講師の小島さんは「お父さんのエクササイズにも効果的なベビーダンスで親子のコミュニケーションを深めてほしい」とアドバイスしました。

Let's Cooking

お父さんと一緒にクッキング 夏休みの楽しい思い出に



一緒に料理を楽しむお父さんと子どもたち

父親と子どもと一緒に料理を作り、家族の協力関係を深めようと、恒例の「パパと一緒にキッズクッキング」が7月27日、サンエールかごしまで開かれました。

参加した小学生とお父さんの12組25人は、料理研究家の上山友子さんの指導でタコライス、コーンクリームスープ、ヨーグルトパバロアの3品の料理に挑戦。中には料理は初めてというお父さんたちもいて、最初はぎこちない感じでしたが、次第に楽しそうな表情に。木元哲男さん(48)は小学3年の天花さんと一緒に参加。「娘の夏休みの思い出づくりのために参加しましたが、料理が意外と楽しいことを知りました」と語っていました。

上山さんは「食を通して子どもたちの生きる力を育ててほしい」とアドバイスしました。